

令和6年度区民参加型予算 投票事業一覧

投票番号	事業名	事業概要
1	防災井戸 知ろう、使おう、遊ぼう	防災井戸を活用した、子ども向けの水遊びイベントを開催。災害時の防災井戸の役割を知る機会とする。
2	区立公園で太陽光発電と蓄電をしよう	区立公園に太陽光パネル・蓄電設備及びソーラー園灯を設置。有事の際も持続的に点灯できるようにするほか、常時電源として活用する。
3	防災運動会を開催しよう	防災用品等を活用した種目で構成された運動会を実施。防災用品等に関する使用方法や知識習得の機会とする。
4	LEDソーラー街路灯給電スポットを駅前広場に設置しよう	人が集まる駅前広場にソーラー街路灯を設置。有事の際も持続的に点灯できるようにするほか、非常用電源として活用する。
5	エレベーター用備蓄品を設置し、地域の見守りを強化しよう	マンションエレベーターの防災キャビネット購入費用の一部を補助。合わせて、防災や地域のたすけあいネットワークに関する資料を配布し、防災意識等の向上を図る。
6	演劇を通して防災について考えよう	東日本大震災を題材にした演劇の公演を実施。区民が防災について考える契機とする。
7	水害対策にグリーンインフラを活用しよう	区立公園に雨庭、雨水タンクを設置する体験型フィールドワークを開催し、グリーンインフラの気運醸成を図る。
8	防災デイキャンプを開催しよう	防災用品・震災救援所備蓄品・起震車・訓練用消火器・煙体験ハウス等を使用した防災訓練をデイキャンプ形式のイベントとして開催。地域防災力の向上を図る。
9	防災コミュニティをつかって地域別のタイムラインをつくろう	水害常襲地域の方を対象に防災ワークショップを開催。各地域の実情を話し合い、意見を出し合うことで、地域に対応したタイムラインを作成し地域防災力の向上を図る。
10	防災士資格試験料等の助成制度をつくろう	地域防災コーディネーター養成講座の拡充及び防災士の資格取得費用を一部補助。地域防災力の向上を図る。

投票番号

1

防災井戸 知ろう、使おう、遊ぼう

- 防災井戸を活用した子ども向けの水遊びイベントを開催
- イベント内で防災井戸の災害時の活用方法について周知・学習



期待される
効果

- 防災井戸の有用性の理解、使用方法の習得
- 地域・家庭の防災意識の向上
- 消防団員の募集や防災井戸の設置・修理助成の周知

投票番号

2

区立公園で太陽光発電と蓄電をしよう

- 区立公園に太陽光パネルを設置し園灯の電力として活用するほか、ソーラー園灯を追加設置



太陽光パネル、ソーラー園灯を設置



発電した電力を園灯に活用し、余りを一般開放

ソーラー園灯が有事の際も点灯



非常用電源の確保と防犯効果

期待される効果

- 自然エネルギーの活用による、環境負荷低減
- 非常用電源の確保
- 有事の際でも点灯することによる防犯効果

投票番号

3

防災運動会を開催しよう

➤ 小学校等を会場として、防災グッズを用いた運動会を実施

【競技例】

消火器訓練的あて

煙ハウス体験

防災グッズ借り物競争 など



地域参加型の「防災」運動会の実施

地域で助け合うコミュニティ形成

期待される
効果

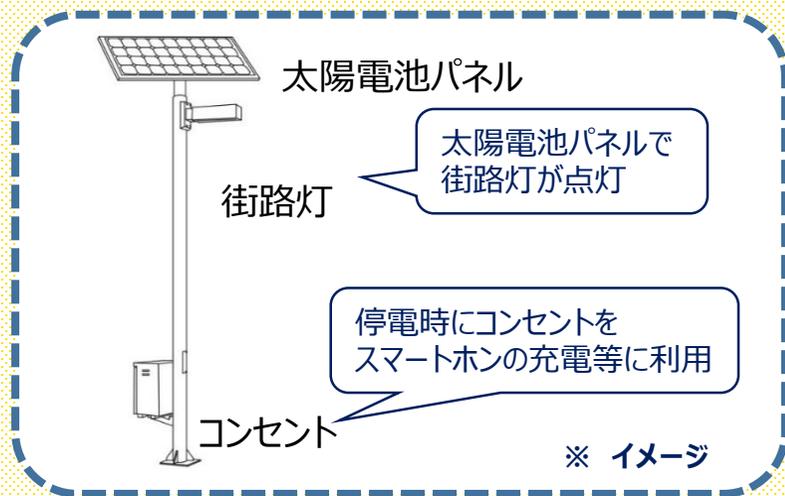
- 地域住民同士の交流の機会をつくることによる、共助の促進
- 防災の資機材の使用方法を学ぶことによる、自助の促進

投票番号

4

LEDソーラー街路灯給電スポットを 駅前広場に設置しよう

- 駅前広場にLEDソーラー街路灯を設置
- 照明だけではなく非常電源として、ソーラーによるコンセントを設置



駅前広場にLEDソーラー街路灯を設置



期待される
効果

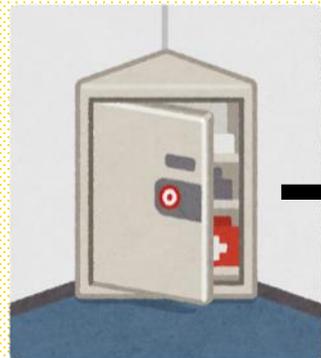
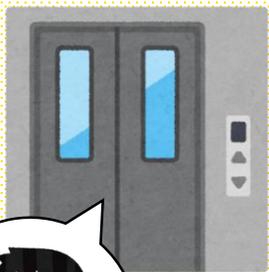
- 停電時でも駅前広場の照明が確保でき、帰宅困難者対策にもつながる
- 非常用電源として活用し、スマートホンでの災害情報入手などを可能に (※)

(※) 日照条件により利用可能な電力量は変化します。

投票番号
5

エレベーター用備蓄品を設置し、 地域の見守りを強化しよう

- 災害時に閉じ込めにつながり得るマンションのエレベーターを対象に、防災用キャビネットの購入費用の一部を補助



エレベーター用防災備蓄品の
購入費用を一部補助

- 補助に合わせて、防災関連情報などの資料をマンションの各住戸に配布

震災救援所や、地域のたすけあいネットワーク（※）
に関する情報などを周知



（※）一人暮らしの高齢者等の日常的な見守りを行うほか、
災害時に自力では避難が困難な方を「地域の方々によるささえあい、たすけあうしくみ」です。

防災意識UP

期待される
効果

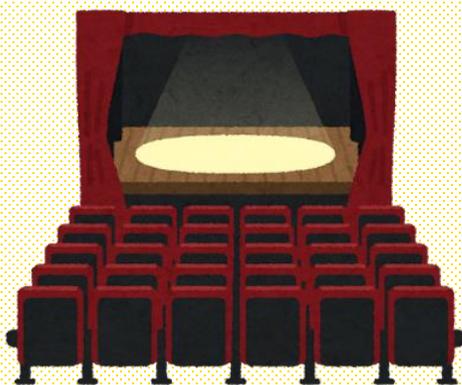
- 防災用キャビネットの設置促進により、エレベーターの閉じ込め被害を軽減
- 防災関連情報などの周知によるマンション住民の防災意識向上

投票番号

6

演劇を通じて防災について考えよう

- 東日本大震災を題材とした演劇を区内各所で公演
- 公演後、参加者で防災について話すワークショップを実施



震災がテーマの演劇を鑑賞後ワークショップを実施

防災意識UP

期待される
効果

- 東日本大震災の教訓を生かした防災意識の向上
- 地域の防災対策を促進

投票番号

7

水害対策にグリーンインフラを活用しよう

➤ 区立公園に雨庭や雨水タンクを設置する体験型フィールドワークを開催



フィールドワーク参加者で雨庭や雨水タンクを設置



※イメージ

【写真提供】(一財)世田谷トラストまちづくり

水害対策

期待される
効果

- 区民のグリーンインフラに関する知識の向上
- グリーンインフラを区民により身近に感じてもらうことで、活用促進の気運を醸成
- 雨庭や雨水タンクの設置による、水害対策効果

投票番号

8

防災デイキャンプを開催しよう

- まじめな防災訓練をしながら子どもから大人まで楽しめるデイキャンプを実施
- 実際の避難場所である小学校・中学校でリアルな訓練
- 防災ユーチューバーによるイベントの広報活動



避難所を疑似体験する



当事者意識が高まり、防災意識が高まる

期待される
効果

- 地震が起きた時の不自由な環境を疑似体験することによる自助の取組の促進
- 助けあう、協力することを通じた共助の意識の啓発

投票番号
9

防災コミュニティをつくって 地域別のタイムラインをつくろう

- 水害が発生している地域の方を対象に水害対策のワークショップを開催
- 地域の実情等を考慮し、意見を出し合ってもらうことで、大雨時の対応に関するタイムライン（行動計画）を作成



ワークショップを開催



大雨時の行動計画を作成

※イメージ

期待される
効果

- 地域特性などを踏まえた、より実効性や有効性の高いタイムラインが作成可能
- 水害に係る話し合いを通じた、地域の連携強化及び地域防災力の向上
- ワークショップで出た意見を、今後のハザードマップ改定検討に活用

投票番号

10

防災士資格試験料等の助成制度をつくろう

- 震災救援所連絡会、防災市民組織、消防団で活動している方を対象に、防災士研修の受講料を一部補助
- 地域防災コーディネーター養成講座の拡充



研修受講料の一部補助と講座の拡充

合格



資格取得・講座修了



地域に還元

期待される
効果

- 防災知識の普及啓発促進
- 受講者が得た知識を震災救援所や防災市民組織に還元することによる地域防災力の向上
- 震災救援所や防災市民組織の担い手不足解消